

講演会講師論稿

平成一七年主催講演会について

平成一七年の主催講演会は、一七年度研修計画の見直しに伴い三月、五月、十一月の三回にわたり開催されました。

春三月は、別府街おこし運動の元祖とも云うべき別府市街おこし室参事・平野芳弘氏に「別府八湯歴史とまちづくり」と題し講演をお願いした。自らの街おこし体験を踏まえた温泉文化発掘・活用・保存の訴えは、これからの別府の町づくりに貴重な示唆を与えるものであった。

五月の講演は、近年進捗著しい歴史遺産、ことに文化財の調査に焦点をあて、県教育庁埋蔵文化財センター所長渋谷忠章氏に「大分県の歴史と文化財」と題して講演を頂いた。原始から大友時代にわたる史実の分析を背景に、現存する文化財の歴史的な意義を説かれ、会員にその保存の重要性を認識させた。

十一月の講演は、大分県先哲史料館史料専門委員加藤泰信氏に、解明不十分な別府の近現代史に焦点をあて、「大分県の市町村合併の動きと別府」と題し、明治以降の別府生い立ちの歴史を分かりやすく解説して頂いた。

なお先生方には次頁如何に講演にかかわる貴重な論稿を寄稿していただきましたのでご精読下さい。

(研修部)



渋谷忠章先生



平野芳弘先生



加藤泰信先生